

平成29年度 学校法人 山添学園 学校評価

認定子ども園 御幸幼稚園・さくらんぼ保育園

自己評価

1. 本年度の教育目標

- (1) 豊かな人間性の基礎作りをする。
- (2) 表現力のある個性豊かな思いやりの心を育てる。
- (3) 物事に敏感に反応し、節度ある態度や姿勢を育てる。
- (4) 意欲を高め自己発揮できるようにする。
- (5) 未来社会を生きるひろい国際感覚を養う。
- (6) 家庭との連携のもと保育・教育を進める。
- (7) かがくする心を育てる。

一本園で目指す子ども像

- (1) 健康で明るく、姿勢の良い節度ある子ども
- (2) よく考え、進んで物事をやりとげる意欲のある子ども
- (3) 自主自立の精神に富み、思いやりのある子ども
- (4) 素直でのびのびして創造性や情操豊かな子ども

2. 平成29年度 重点に取り組む目標・計画

- | | |
|----------|---------------|
| ○教育課程の改善 | ○教育環境の整備 |
| ○教員の資質向上 | ○保護者・地域住民との連携 |
| ○子育て支援 | ○安全・健康管理 |

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組みの状況
教育課程の改善	<p>幼保連携型 認定子ども園 教育・保育要領を踏まえ、発達の連続性と生活の連続性を考え、年間計画、週案、日案を作成し、本園の教育目標に沿って日々の教育・保育活動の充実を図っている。</p> <p>園児の実態、地域性などを考慮しながら必要に応じて、内容の見直し充実を図っている。</p>
教育環境面の整備	<p>子どもの主体的な活動に即し乳幼児期にふさわしい生活が展開されるように環境を構成し、子どもが必要な体験が得られるようにしている。自園方式による完全給食を実施している。また、保育室、園舎の改修として、1階、2階の保育室にロフトの設備、園庭に大型ロフト、砂場、雨水利用設備等設置を行った。運動会の備品、音楽発表会の楽器等の充実を図ってきた。</p> <p>引き続き ECERS ル) を研究し、園児1人ひとりが周囲の様々な環境に働きかけ、興味や関心を持って関わられるような環境作りを推進している。</p>
教員の資質向上	<p>園児の心身の発達、状況、行事、保育活動等を共有し、把握するために、日々終礼、リーダー会、職員会議を行っている。</p> <p>大学の講師を招聘した園内研修、海外研修を含む園外研修にも積極的に参加、発表等も行ってきた。また、各自研修報告を作成し、教職員間で共有する場を持ってきた。昨年と同様、1年を通して私立幼稚園連盟の研修プロジェクトに参加した職員による研修会を持ち研修を深めることができた。教育実習生を含め研究保育を実施する等して一人ひとりの資質の向上を図ってきた。</p>
家庭・地域との連携	<p>「開かれた園」をめざして、ホームページ、園だより、クラスだより、保育参観、懇談会、意見箱の設置等を通して保護者との相互理解を深めている。また、近隣の小学校、中学校・高校の職業体験・高校合同避難訓練・公民館祭の参加・老人ホームへの慰問、地域ボランティアの方々、守口スイミングクラブとの連携に務めている。</p>

<p style="text-align: center;">子育て支援</p>	<p>預かり保育の延長として、早朝より、土曜日、長期休業中の拡大に取り組んでいる。通園バスにおいても、保護者のニーズに合わせて柔軟に対応している。</p> <p>園児の送迎時の対応、相談や助言、連絡や「おたより」、個人・クラス懇談会、説明会等様々な機会を活用して保護者に対する子育て支援を行っている。また、未就園児対象の園庭開放の充実、夏祭り・スイカ割り・運動会・音楽会・にっこりキッズ・おもちつき等の行事への招待を行った。多くの保護者、子どもの参加もあり、喜ばれている。「ママ友クラブ」を行い、講師を招聘し、教育相談を行っている。今後も多様な支援の在り方を検討していきたい。</p>
<p style="text-align: center;">安全・健康</p>	<p>年間計画に沿って、健康診断、毎月の身長・体重測定健康指導等を行っている。</p> <p>食育については野菜の栽培収穫体験をクッキングにつなげ、絵本やパネルシアターを通して食に対する興味・関心を高める取り組みを行ってきた。</p> <p>施設・用具の安全点検に絶えず目を配り、交通安全指導、地震・火災・津波などに備え定期的に避難訓練を行っている。特に津波については隣接校である芦間高校との合同避難訓練を実施している。また、アレルギー研修を行い、日々の給食においても十分配慮しながら行っている。</p>

4. 自己評価の具体的な目標や計画の総合的な結果

園児数の減少、保護者のニーズの多様化に伴う、魅力のある幼稚園の在り方は大きな課題であったが、総合的な自己評価、学校関係者評価を行うことにより、各項目の成果と課題を明らかにすることができ、総合的な計画を立て一步一步進めることができた。「子育て支援」についても、施設設備の充実共に、預かり保育の延長、未就園児対象に園庭開放を始め、様々な行事への参加、説明会及び「ママ友クラブ」、教育相談等を行ったことも、今年度の新入園児の増加につながったと考えられる。今後、さらに保護者、未園児に興味や関心を持ってもらえるような園庭開放の在り方、教育相談の充実を図っていきたい。分かりやすい説明会、園だより、ホームページの充実を目指していきたい。また、「教育環境面の整備」「教員の資質向上」等についても、さらに改善充実を図り、向上に努めたい。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み
教育環境面の整備	<p>園児にとって楽しく、過ごしやすい園舎に改善していきたいという思いで、保育園のロフトの設置、園庭の園庭に2階から行き来できるウッドテラスの設置等をし、園児の自発的な活動の場を広げてきた。各クラスの保育室においても、さらに遊具等の充実を図り、遊びコーナーを工夫し、子どもたちが興味や関心を持って関わり、考えたり、試したりできる環境を創造していきたい。新制度移行に伴って園の保育園を新築に伴い、0歳児から小学校就学前までの一貫した教育及び保育を園児の連続性を考慮しながら設備の充実を図っていききたい。また、昨年度は、新たにみかん狩り、ぶどう狩りに行き、ニフレル、レゴランド、大阪府警、スカイパーク、キッズプラザ、鶴見緑地、深北公園等に行ったが、今後も園外保育を充実に努め、自然・社会・生活体験の向上を図っていききたい。</p>

学校関係者評価

- ・運動会の時カメラの撮影場所確保してもらっているので撮りやすい。
- ・遊具が増えているのでうれしい。
- ・発表会の座席は見やすくなっているが、立っている人もいるようなので配慮してほしい。
- ・仕事を持っている親が子どもの付き添い、お手伝いできる工夫をしてほしい。
- ・働いている親にとって、園からスイミングプールに連れて行ってもらえるので嬉しい。
- ・年度初めの親子遠足では親睦が図れるような工夫をしてほしい。
- ・親子遠足では早朝、下の子を園が預かってくれるので、ありがたかった
- ・園外保育や遠足では色々ところに連れて行ってもらえるので喜んでいる。
- ・制服、教材などで使えるものはリサイクルしてはどうか。
- ・給食の時、アレルギーの子どもに対しても配慮してもらっている。みんなが楽しく食事できる雰囲気大切にしたい。
- ・早速、みかん狩り、ぶどう狩りを実施してもらったので喜んでいる。
- ・保護者の要望を気軽に聞いてもらえるので嬉しい。
- ・子どもは幼稚園に通うのを楽しみにしている。

平成30年度学校関係者評価委員会名簿

氏名	役職	備考
牧野 留美	現保護者会会長	保護者
田中 恵	現保護者会会長	保護者
上野 弥生	現保護者副会長	保護者
村田 里香	前現保護者会計	保護者
中西 優	前保護者会会長	前保護者
中澤 由香	前保護者会副会長	前保護者
富永 貴代子	前現保護者会副会長	保護者
山城 礼奈	前保護者会副会長	保護者
宇津木 恵美子	前現保護者会会計	前保護者
山田 千枝子	園長	
田中 弘彦	理事長	

※財務状況

公認会計士により、適正に運営されていると認められている。

学校法人 山添学園 平成29年度事業報告書

1. 法人の概要

法人名	学校法人 山添学園
代表者	理事長 田中 弘彦
住所	大阪府守口市桃町2番8号
電話	(06) 6991-1822
FAX	(06) 6991-1822

(1) 設置する学校

○幼保連携型認定こども園 御幸幼稚園・さくらんぼ保育園

(大阪府守口市桃町2番8号)

○大阪市小規模保育事業 みゆきっこ つばめ保育園

(大阪市淀川区西中島4丁目10番4号 木々ビル1階)

(2) 役員・教職員の概要 (平成30年3月31日現在)

理事	7名
監事	2名
評議員	15名
教職員	63名 (うち教員45名、職員17名)

2. 事業の目的・理念

「豊かな人間性の基礎づくりをする教育をする」

「表現力のある個性豊かな、思いやりのある心を育てる」

「物事に敏感に反応し、節度ある態度や姿勢を育てる」

以上の教育理念を基に、一人ひとりの子どもに愛情を持ってかかわり、生きる力の基礎を育む。

子ども・保護者・保育者など園にかかわるすべてのものが、互いに育ちあう。

3. 教育方針

○子ども達の表現力、創造力のある個性豊かな思いやりの心を育む。

○「生きる力」の基礎を培うための基本的な生活習慣を身に付ける。

○自然に対する興味や関心を持ち、豊かな感性を育てる。

4. 子育て支援

地域の未就児対象に夏まつり、スイカ割り、運動会、親子工作教室などの行事への参加を呼びかける。子育て世帯の多様なニーズを把握し、子育て支援のあり方を考える。

5. 平成29年度重点実施事項

運営する「幼保連携型認定こども園 御幸幼稚園・さくらんぼ保育園」及び「大阪市小規模保育事業「みゆきっこ つばめ保育園」において、計画的な環境整備を進めるとともに、教育方針に基づいた質の高い保育・教育を提供することにより園児の豊かな成長を目指した様々な活動を推進した。

更に、平成30年度に「**幼保連携型認定みゆき西子ども園**」(守口市から移管)、大阪市小規模保育事業の2か所目となる「**みゆきっこ そら保育園**」及び企業主導型の小規模保育園として「**みゆ**

「きっこ保育園」の3園を開設するための、関係機関との調整、施設の整備、職員の養成等、着実に準備を進めた。

学校法人としても、各園が特色を生かしつつ連携して質の高い教育・保育を提供できるよう体制整備に努め、地域の中の子育て支援施設の役割を果たすべく、大阪府、守口市、大阪市等関係機関との地域連携、企業との連携を一層推進した。

【御幸幼稚園・さくらんぼ保育園の概要】

①教職員体制（平成30年3月31日現在）

職名	員数(名)	常勤(名)	非常勤(名)	備考
園長	1	1		
副園長	1	1		
主幹保育教諭	2	2		
保育教諭	36	28	8	
保育補助	5	2	3	
園医	2		2	
看護師	2	2		
事務員	5	3	2	
その他職員	5	3	2	
合計	57名	40名	17名	

②園児数（平成29年度）

園児数	さくらんぼ保育園		御幸幼稚園	
	0歳児	9名	3歳児	59名
1歳児	18名	4歳児	51名	
2歳児	18名	5歳児	72名	
		*満3歳児	12名	
合計	45名		182名	

【みゆきっこ つばめ保育園の概要】

①教職員体制

施設長 1名

保育士 7名

②園児数・・・定員数19名

1歳児 4名

2歳児 7名

3歳児 8名

監事監査報告書

平成30年5月25日

学校法人 山 添 学 園
理 事 会 御中
評 議 会 御中

学校法人 山 添 学 園

監 事

監 事

私たちは、私立学校法第37第3項及び学校法人山添学園寄付行為第16条の規定に基づき学校法人山添学園の平成29年度（平成29年4月1日から平成30年3月31日）業務並びに財産の状況について監査を行った。

私たちは監査にあたり、理事会及び評議員会に出席し、理事からの業務の報告を傾聴し、重要な決算書類を閲覧するなど必要と思われる監査手続を実施した。

監査の結果、学校法人山添学園の業務及び財産の状況は適切であり、不正の行為又は法令若しくは寄付行為に違反する重大な事実は無いものと認める。

以上

平成29年度計算書類(学校法人 山添学園)

資金収支計算書

(収入の部) 単位:円

科 目	決 算
学生生徒等納付金収入	9,086,500
手数料収入	216,000
寄付金収入	242,000
補助金収入	436,138,795
資産売却収入	1,728,540
付随事業・収益事業収入	30,887,375
受取利息・配当金収入	37,743
雑収入	2,880,605
借入金等収入	0
前受金収入	3,822,000
その他の収入	39,607,521
資金収入調整勘定△	92,785,784
前年度繰越支払資金	142,760,792
収入の部合計	574,622,087

(支出の部) 単位:円

科 目	決 算
人件費支出	191,482,839
教育研究経費支出	17,572,251
管理経費支出	57,123,236
借入金等利息支出	660,000
借入金等返済支出	3,390,000
施設関係支出	118,786,256
設備関係支出	16,100,070
資産運用支出	0
その他の支出	30,819,504
[予 備 費]	
資金支出調整勘定△	22,912,866
翌年度繰越支払資金	161,600,797
支出の部合計	574,622,087

事業活動収支計算書

単位:円

		科 目	決 算
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	9,086,500
		手数料	216,000
		寄付金	242,000
		経常費等補助金	299,829,795
		付随事業収入	28,787,675
		雑収入	2,880,605
		教育活動収入計	341,042,575
	事業活動支出の部	人件費	191,482,839
		教育研究経費	29,840,592
		管理経費	59,741,093
		徴収不能額等	0
		教育活動支出計	281,064,524
		教育活動収支差額	59,978,051
		教育活動外収支	収入の部
その他の教育活動外収入	2,099,700		
教育活動外収入計	2,137,443		
支出の部	借入金等利息		660,000
その他の教育活動外支出	0		
教育活動外支出計	660,000		
教育活動外収支差額	1,477,443		
経常収支差額	61,455,494		
特別収支	収入の部	資産売却差額	745,204
		その他の特別収入	136,309,000
		特別収入計	137,054,204
	支出の部	資産処分差額	0
		その他の特別支出	0
		特別支出計	0
特別収支差額	137,054,204		
[予 備 費]	0		
基本金組入前当年度収支差額	198,509,698		
基本金組入額合計△	125,181,385		
当年度収支差額	73,328,313		
前年度繰越収支差額	20,641,138		
基本金取崩額	0		
翌年度繰越収支差額	93,969,451		

貸借対照表

(資産の部) 単位:円

科 目	
固定資産	455,957,280
流動資産	253,259,515
資産の部合計	709,216,795

(負債の部) 単位:円

科 目	
固定負債	60,148,800
流動負債	22,956,876
負債の部合計	83,105,676

(純資産の部) 単位:円

科 目	
基本金	532,141,668
繰越収支差額	93,969,451
純資産の部合計	626,111,119

財産目録

単位:円

1. 資産総額	709,216,795
Ⅰ 固定資産	455,957,280
Ⅱ 流動資産	253,259,515
2. 負債総額	83,105,676
Ⅰ 固定負債	60,148,800
Ⅱ 流動負債	22,956,876
3. 純資産	626,111,119

(参考)

事業活動収入計	480,234,222
事業活動支出計	281,724,524